

## 活動報告

開催日	報告内容
2020年 3月2日	<p><b>パブリック・ドメイン研究会</b> 場所：神戸大学</p> <p>Robert P. MERGES (Professor, University of California, Berkeley) “Justifying Intellectual Property”</p> <p>田村 善之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授、北海道大学名誉教授) “A Theory of Intellectual Property”</p> <p>山根 崇邦 (同志社大学法学部教授) “Conflict between Rights-Based Theory and Utilitarian Theory in the Field of IP”</p>
2020年 3月4日	<p><b>エコノリーガルプログラム(ELS)ワークショップ</b> 場所：神戸大学</p> <p>Robert P. MERGES (Professor, University of California, Berkeley) “Platform Companies and Independent Research Companies: Possible Role of the ‘Secondary Market’ for Patents”</p> <p>中山 一郎 (北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長) “Patent Markets, SMEs and Trolls?, from Japanese Perspectives”</p> <p>コメンテータ：滝川 敏明 (関西大学名誉教授)</p>
2020年 3月4日	<p><b>知的財産法研究会 (東京大学)</b></p> <p>田村 善之 (東京大学大学院法学政治学研究科教授、北海道大学名誉教授)</p> <p>「第4次産業革命におけるイノベーションの特許発明適格性・進歩性・記載要件について」</p> <p>コメンテータ： 張 唯瑜 (北海道大学大学院法学研究科博士後期課程、シンガポール経営大学客員研究員)</p>
2020年 3月7日	<p><b>知的財産法研究会 (東京大学)</b></p> <p>Branislav HAZUCHA (北海道大学大学院法学研究科教授)</p> <p>“Public Views on Non-Transformative Uses of Copyrighted Works: A Cross-Country Empirical Study”</p>

<p>2020年 3月9日 ～10日</p>	<p><b>パブリック・ドメイン研究会</b> 場所：北海道大学 村井麻衣子（筑波大学大学院図書館情報メディア系准教授） 「著作権法における知る権利の保障－41条（時事の事件の報道）の検討－」 平澤 卓人（さっぽろ法律事務所弁護士、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター客員研究員） 「商標登録要件に対する憲法的統制」 ※詳細については、本誌第50号から連載中の論文を参照されたい。 吉田 広志（北海道大学大学院法学研究科教授） 「均等論第5要件」 ※詳細については、本誌第56号掲載の論文を参照されたい。 田村 善之（東京大学大学院法学政治学研究科教授、北海道大学名誉教授） 「特許権侵害に対する損害賠償（6月の大合議判決と2019年特許法改正）」 中山 一郎（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長） 「Robert P. Merges, “Patent Markets and Innovation in the Era of Big Platform Companies” について（3月4日神戸大学ワークショップでの議論を踏まえて）」</p>
<p>2020年 3月20日</p>	<p><b>パブリック・ドメイン研究会</b> 場所：東京大学 時井 真（Former Researcher, Max Planck Institute for Innovation and Competition; 北京大学法学院博士課程） “‘Three-Step Method’ in the Patent Law of the People’s Republic of China - and Its Developments and Some Issues” 劉 一帆（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程） “Description Requirements in Patent Law in Biopharmaceutical Industry” ※詳細については、本誌本号掲載の評釈を参照されたい。 高野 慧太（神戸大学大学院法学研究科助教） “The Comparative Analysis of Substantial Similarity in Copyright Law between Japan and U.S.” コメンテータ： 中山 一郎（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）</p>

	<p>Branislav HAZUCHA（北海道大学大学院法学研究科教授）          大友 信秀（金沢大学大学院人間社会環境研究科教授）          小島 立（九州大学大学院法学研究院准教授）          前田 健（神戸大学大学院法学研究科准教授）          Christoph RADEMACHER（早稲田大学大学院法学研究科准教授）          高田 恭子（大阪工業大学知的財産学部准教授）</p>
2020年 5月30日	<p>知的財産法研究会（オンライン）（民事法研究会と共同開催）          嶋 拓哉（北海道大学大学院法学研究科教授）          「『外国の登記・登録に関する訴訟』にわが国が裁判権を行使してはいけないのか？」</p>
2020年 6月13日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）          平澤 卓人（さっぽろ法律事務所弁護士、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター客員研究員）          「商標権侵害訴訟における商標の類似性要件の実証的研究」          ※詳細については、本誌本号掲載の論文を参照されたい。</p>
2020年 6月27日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）          山根 崇邦（同志社大学法学部教授）          「知的財産法学における権利論と功利主義の相克－MergesとLemleyの論争に対する学界の反応と新たな展開を中心として」          ※詳細については、本誌第55～56号に掲載の論文を参照されたい。</p>